

事務事業名	道の駅たたらば壱番地整備事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	産業施設グループ	課長名	安部昭彦
施策名	(38)観光の振興	担当者名	佐藤保興	電話番号	0854-40-1093
目的	対 象 市外の人・市民			(内線)	2421
基本事業名	(117)受け入れ施設の充実	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	観光施設整備事業	
目的	対 象 観光客		0 1 3 5 0 2	中事業	道の駅たたらば壱番地整備事業
	意 図 市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。		0 5 2 0 0 2	中事業	業
	意 図 受け入れ施設を整える。				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (29 年度～ 30 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
[平成29年度] ・排水処理施設改修工事設計業務委託 ・補償金(1件)
[平成29年度～平成29年度繰越明許] ・排水処理施設改修工事 ・補償金(1件)

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ※平成29年度繰越明許 ①排水処理施設改修工事 ・工事管理、変更契約、竣工検査、支出処理 ②補償契約 ・補償内容確認、執行伺、補償契約、実施確認、支出処理 ③改善計画状況報告	元年度計画(元年度に計画する主な活動) ※平成30年度事業終了 以後の管理は道の駅たたらば壱番地管理事業で行う。				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 改善計画報告	回		2	2	
	イ 設計業務委託契約	件		2	-	
	ウ 工事請負契約	件		2	1	
	エ 補償契約	件		1	1	

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	①市民 ②市外からの入込客	ア 日本的人口	千人		126,706	126,443	
		イ 人口【国勢調査(推計)】	人		37,794	37,012	
		ウ 観光入込客数	万人		139.4	129.8	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	①②利用できる	ア 利用者数(レジ通過者)	人		375,844	362,103	
イ 観光入込客数		万人		139.4	129.8		
ウ 総体的な売上		千円		383,353	370,878		

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
【工事請負費】21,784千円、 【補償金】69千円(1件)	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円		13,600	20,700
		その他	千円		777	1,153
	事業費計 (A)		千円		14,377	21,853
	人件費	正規職員従事人数	人		3	2
延べ業務時間		時間		200	80	
人件費計 (B)		千円		815	347	
トータルコスト(A)+(B)		千円		15,192	22,200	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・利用者数は年々減ってきている。 ・一方でゴールデンウィークや夏休み期間等の長期休暇時には施設利用者が多く排水処理施設に影響を与えることもあり、様々な対策を講じている。	・年間をとおして排水処理施設機能の継続的な改善対策を行った。 ・改善計画を作成し、雲南保健所へ提出しており、毎年度その状況を報告している。 ・抜本的な改善対策が必要との判断から排水処理施設改修工事を行う。	・雲南保健所から浄化槽の適正な維持管理を求められている。 ・議会から施設利用者が増えても対応できる処理施設が必要との意見がある。 ・指定管理者から浄化槽周辺の匂い等の対策が求められている。

事務事業名	道の駅たたらば壱番地整備事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・単年度事業であり、過去の数値を考慮に入れた設計を行っているため、成果の向上はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	・単年度事業であり、排水処理施設改修工事が完了すれば事業終了となる。
<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	<input type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		・単年度事業であり、排水処理施設改修工事が完了すれば事業終了となる。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		・委託契約により排水処理施設の適正規模等を算定した結果の改修工事であり事業費の削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		・最小限の人数と業務時間でっており、改修工事に係る人件費の削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		・道の駅たたらば壱番地の不特定多数の利用者が受益者となるため、公平・公正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			・委託契約により排水処理施設の適正規模等を算定した結果の改修工事であるため、成果は向上する。 ・単年度事業であり、排水処理施設改修工事が完了すれば事業終了となるが、今後は道の駅たたらば壱番地管理事業において適正な維持管理を行う。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
・単年度事業であり、排水処理施設改修工事が完了すれば事業終了となる。 ・改修工事に係るコストが増加するが、排水処理施設改修により、機能が增强され、今後の維持管理における経費が削減することが期待される。 ・今後は道の駅たたらば壱番地管理事業において適正な維持管理を行う。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		